2023年3月期

決算補足資料

2023年5月11日

京阪ホールディングス株式会社

東証プライム市場 9045

https://www.keihan-holdings.co.jp/

2023年3月期

決 算 の 概 要

連結損益計算書

- 不動産業で前期の開発案件販売の反動があったものの、緊急事態宣言発出の影響を受けた前期と比べ、レジャー・サービス業や運輸業において回復が見られたことなどにより、増収となり、営業利益、経常利益も増益。さらに、固定資産売却益の増加もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期を大きく上回りました。

（単位：百万円）

	2023/3 実績	2022/3 実績	増減	増減要因	2023/3 予想	増減
営業収益	260,070	258,118	1,952 (0.8%)		254,600	5,470 (2.1%)
営業利益	20,491	13,408	7,083 (52.8%)		17,200	3,291 (19.1%)
営業外収益	2,467	5,820	△3,352	新型コロナウイルス感染症対策補助金△1,460、雇用調整助成金△1,263		
営業外費用	2,500	2,742	△241			
経常利益	20,458	16,485	3,972 (24.1%)		17,000	3,458 (20.3%)
特別利益	9,806	4,199	5,607	固定資産売却益+4,405、受取補償金+1,659、投資有価証券売却益△1,005		
特別損失	3,779	2,684	1,095	減損損失+623		
親会社株主に帰属する当期純利益	17,621	9,589	8,032 (83.8%)		16,000	1,621 (10.1%)
(参考)						
減価償却費	20,028	20,922	△894		20,200	△171
EBITDA	40,520	34,331	6,189	※EBITDA：営業利益＋減価償却費	37,400	3,120
金融収支	△1,341	△1,542	200		△1,345	3
受取利息及び配当金	535	464	71		490	44
支払利息	1,877	2,007	△129		1,836	41

セグメント情報

（単位：百万円）

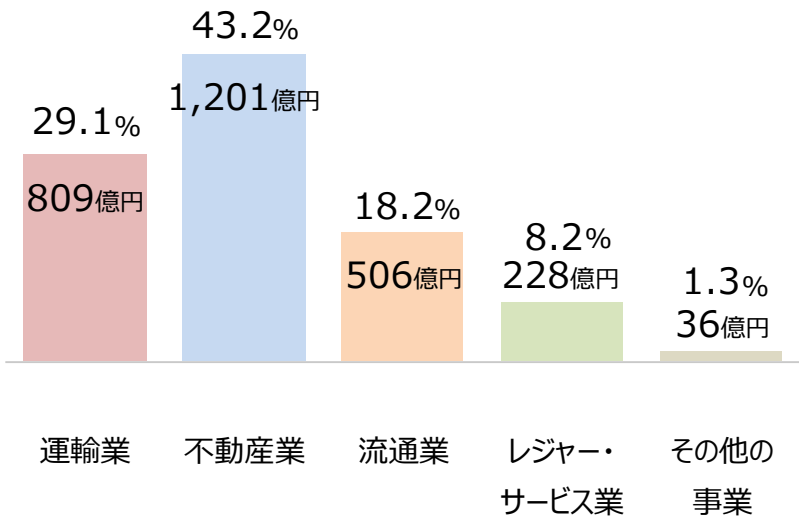
		2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	増減率	2023/3 予想	増減額	増減率
運輸業	営業収益	80,927	70,768	10,158	14.4%	79,300	1,627	2.1%
	営業利益	6,885	173	6,711	–	4,800	2,085	43.4%
不動産業	営業収益	120,103	137,495	△17,391	△12.6%	117,500	2,603	2.2%
	営業利益	17,555	22,593	△5,037	△22.3%	17,000	555	3.3%
流通業	営業収益	50,676	52,908	△2,231	△4.2%	51,300	△623	△1.2%
	営業利益	1,878	1,776	102	5.8%	2,400	△521	△21.7%
ﾚｼﾞｬｰ･ｻｰﾋﾞｽ業	営業収益	22,869	11,529	11,340	98.4%	20,800	2,069	10.0%
	営業利益	△3,836	△9,324	5,488	–	△4,600	763	–
その他の事業	営業収益	3,660	3,169	490	15.5%	3,700	△39	△1.1%
	営業利益	△1,230	△1,393	163	–	△1,000	△230	–
全社・消去	営業収益	△18,167	△17,752	△414	–	△18,000	△167	–
	営業利益	△761	△417	△343	–	△1,400	638	–

セグメント情報（構成）

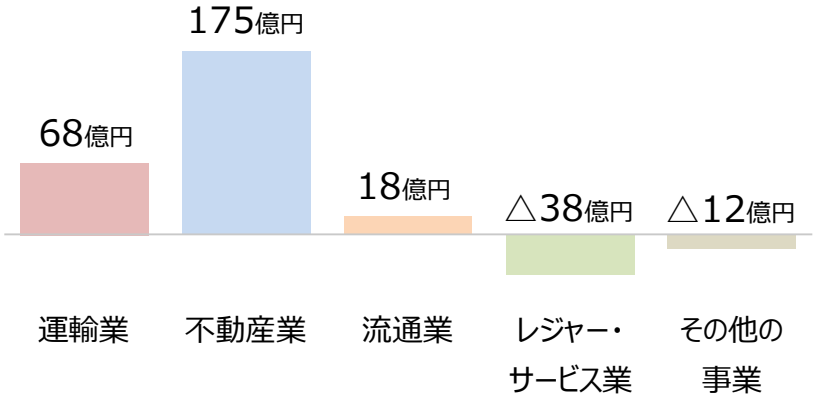
【連結対象会社】39社（対前期　1社減）【持分法適用会社】2社（対前期　増減なし）

運輸業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス　他12社
不動産業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物　他6社
流通業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ＆リゾーツ、琵琶湖汽船　他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

＜セグメント別営業収益＞

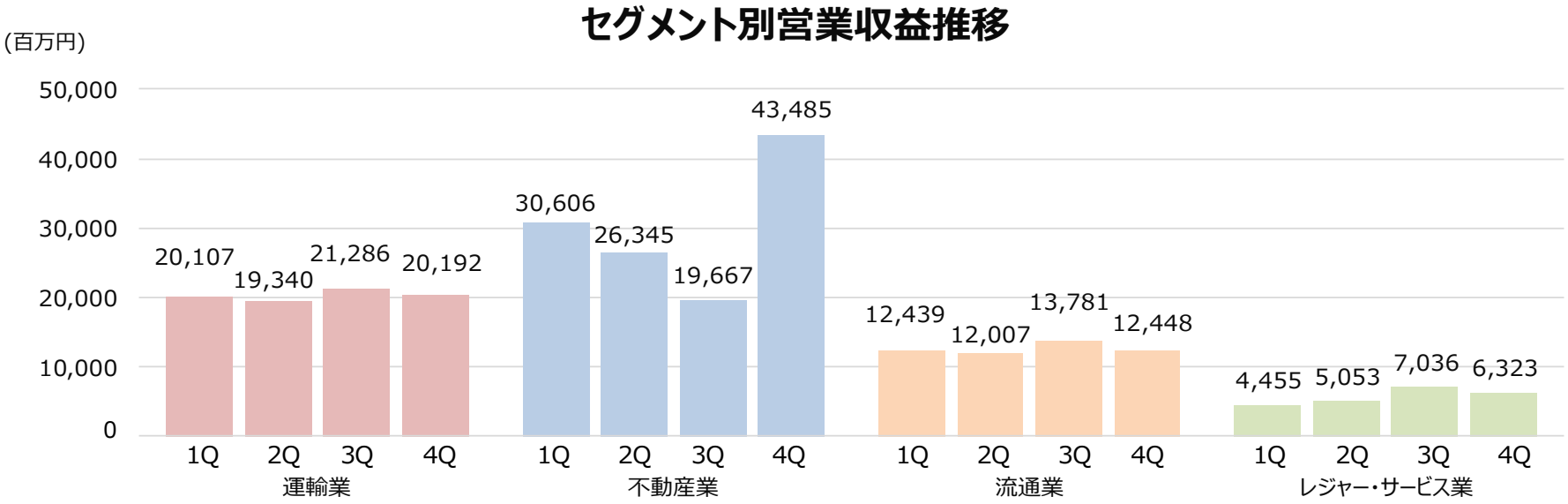


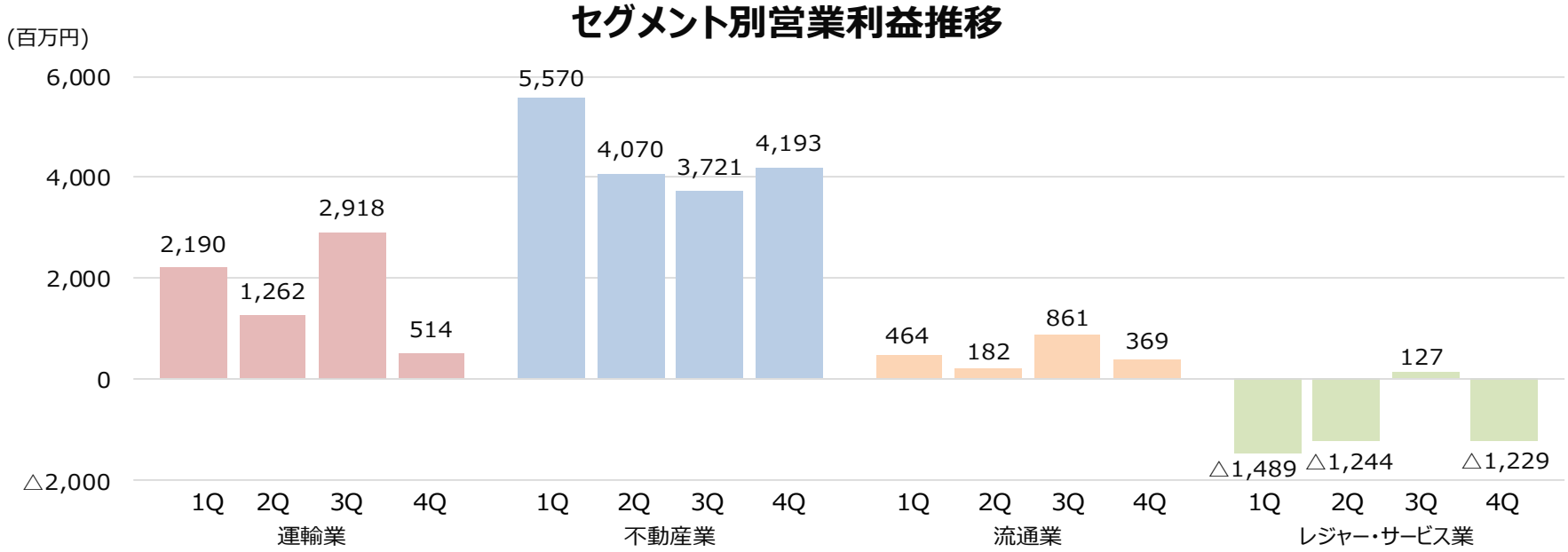
＜セグメント別営業利益＞



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。%は各セグメントの構成比を表しております。

セグメント情報（四半期推移）





セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	増減率
営業収益	80,927	70,768	10,158	14.4%
鉄道事業	65,962	58,271	7,690	13.2%
バス事業	22,507	19,596	2,911	14.9%
消去	△7,542	△7,098	△443	–
営業利益	6,885	173	6,711	–
鉄道事業	5,775	1,104	4,671	423.1%
バス事業	1,085	△954	2,039	–
消去	24	23	0	–

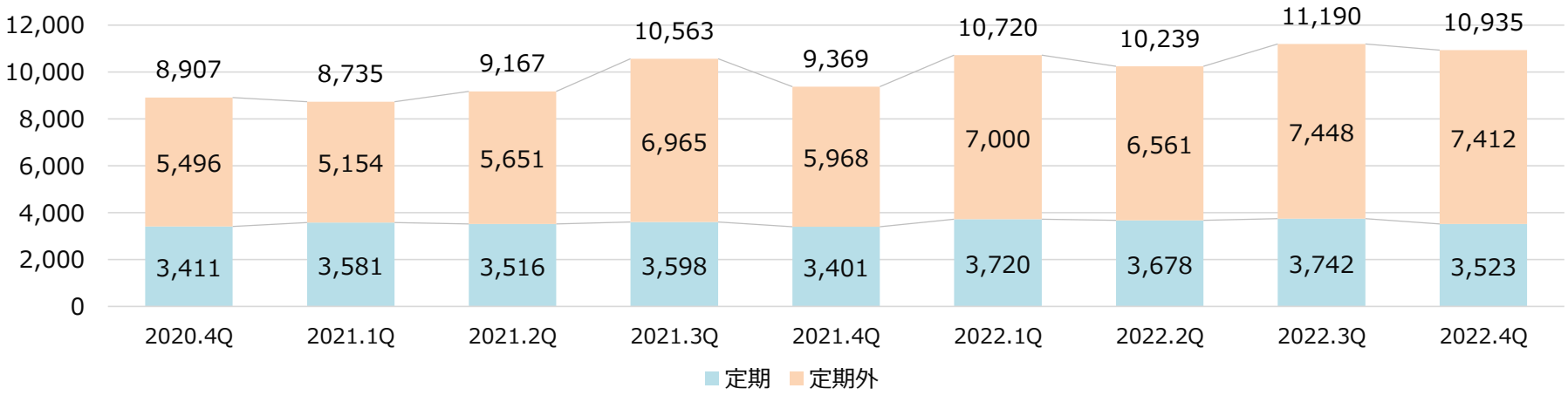
（主な増減要因）

- 鉄道事業は、緊急事態宣言が発出された前期と比較して輸送人員が増加したことなどにより、増収・増益。
- バス事業は、緊急事態宣言が発出された前期と比較して乗合収入が増加したことなどにより、増収・増益。

運輸成績 京阪電気鉄道

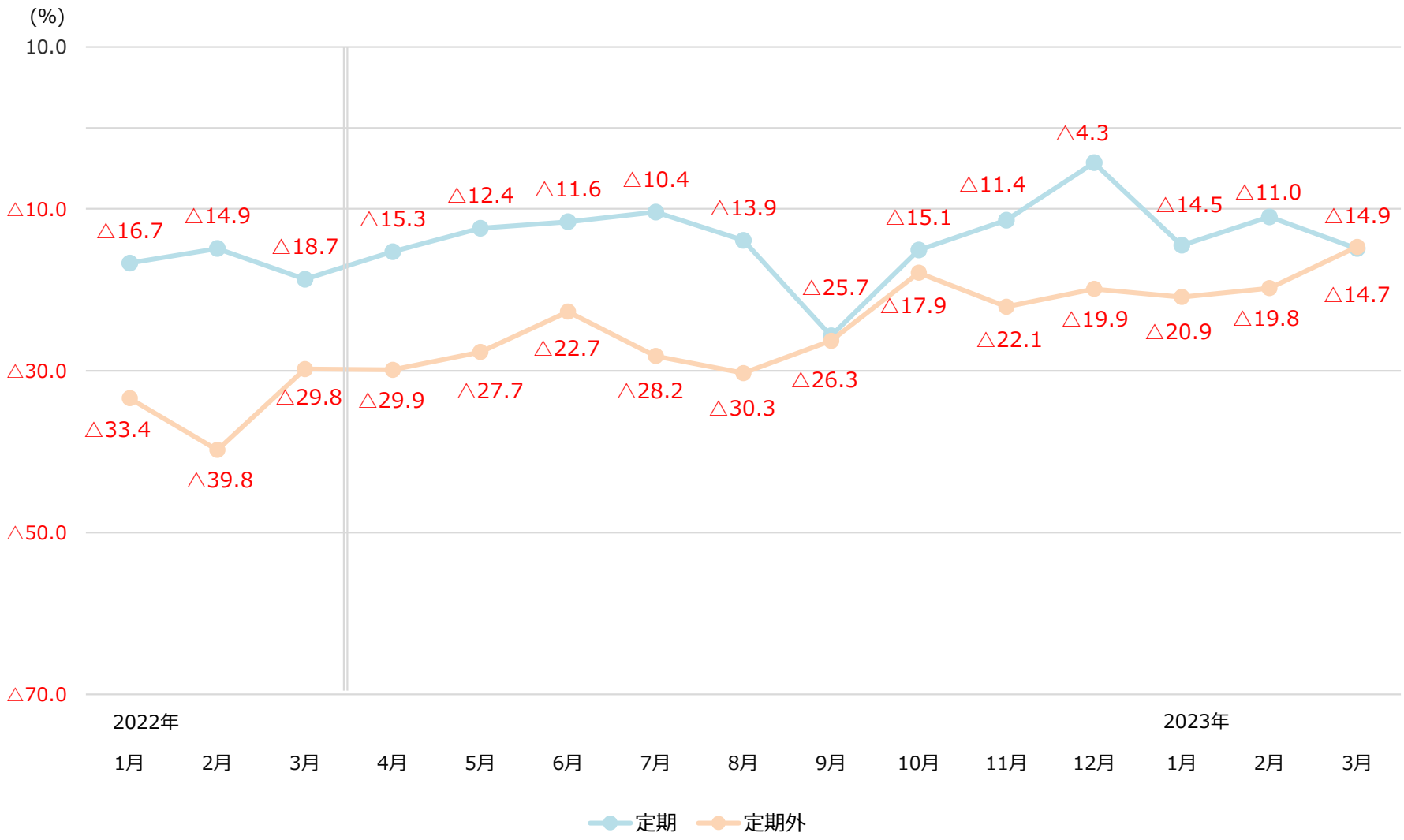
	2023/3 実績	2022/3 実績	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客収入	43,085	37,835	5,249	13.9
定期外	28,421	23,738	4,683	19.7
定期	14,663	14,096	566	4.0
	千人	千人	千人	%
旅客数	243,608	219,235	24,373	11.1
定期外	115,377	97,391	17,986	18.5
定期	128,230	121,843	6,387	5.2

旅客収入の推移（百万円）



運輸成績 京阪電気鉄道

旅客数 対2019年比



セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	増減率
営業収益	120,103	137,495	△17,391	△12.6%
不動産事業	102,968	117,583	△14,615	△12.4%
不動産販売業	71,791	87,214	△15,423	△17.7%
不動産賃貸業	26,999	25,907	1,091	4.2%
その他	4,177	4,461	△283	△6.4%
建設事業	24,525	26,768	△2,242	△8.4%
消去	△7,389	△6,856	△532	–
営業利益	17,555	22,593	△5,037	△22.3%
不動産事業	16,757	23,113	△6,356	△27.5%
不動産販売業	4,651	11,077	△6,425	△58.0%
不動産賃貸業	11,679	11,578	100	0.9%
その他	426	457	△31	△6.8%
建設事業	977	623	354	56.8%
消去	△178	△1,143	964	–

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、「ザ・ファインタワーウエストコースト」や「ファインレジデンス新百合ヶ丘」などマンション販売の増加はあるものの、前期の開発案件販売の反動が大きく、減収・減益。
- 不動産賃貸業は、不動産ファンド収入の増加などにより、増収・増益。

セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

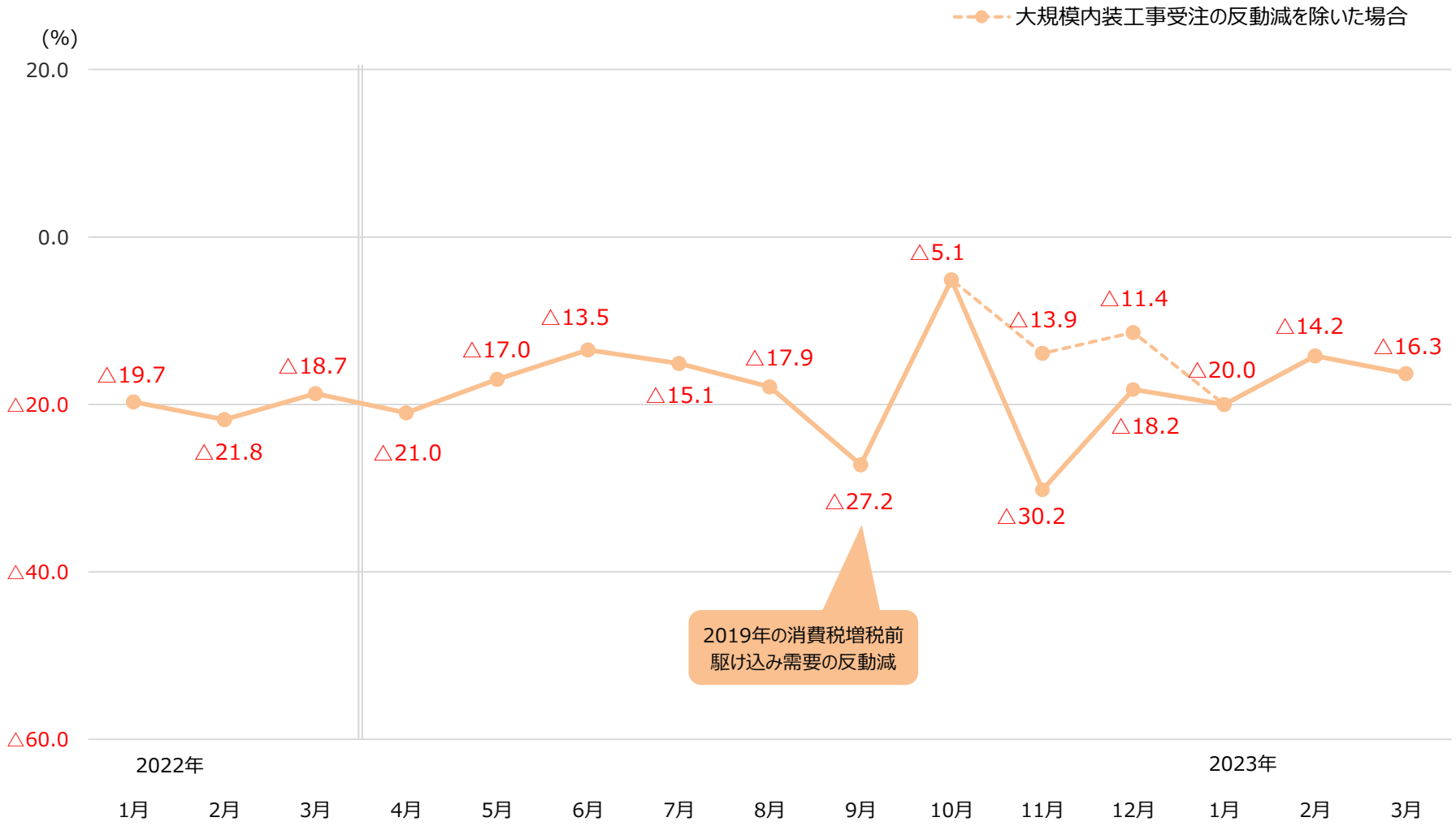
	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	増減率
営業収益	50,676	52,908	△2,231	△4.2%
百貨店業	19,958	19,742	216	1.1%
ストア業	14,995	16,941	△1,946	△11.5%
ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞﾓｰﾙの経営	12,808	12,265	542	4.4%
その他	4,365	5,405	△1,040	△19.2%
消去	△1,450	△1,446	△3	–
営業利益	1,878	1,776	102	5.8%
百貨店業	△149	△231	81	–
ストア業	508	622	△114	△18.4%
ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞﾓｰﾙの経営	1,333	1,281	51	4.1%
その他	167	74	92	124.8%
消去	19	29	△9	–

（主な増減要因）

- 百貨店業やショッピングモールの経営は、緊急事態宣言が発出された前期の休業や時短営業の影響の反動により、増収・増益。
- ストア業は、前期の新型コロナウイルスの影響の反動はあるものの、京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業に伴い2021年12月に閉店したフレスト香里園店の影響などにより、減収・減益。

セグメント情報（流通業）

百貨店業（京阪百貨店）　営業収益 対2019年比



※収益認識会計基準適用前の営業収益による比較

セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	増減率
営業収益	22,869	11,529	11,340	98.4%
ホテル事業	19,977	9,364	10,613	113.3%
レジャー事業	2,918	2,186	731	33.5%
消去	△26	△22	△4	–
営業利益	△3,836	△9,324	5,488	–
ホテル事業	△3,696	△8,814	5,117	–
レジャー事業	△158	△528	370	–
消去	18	18	0	–

ホテル稼働率

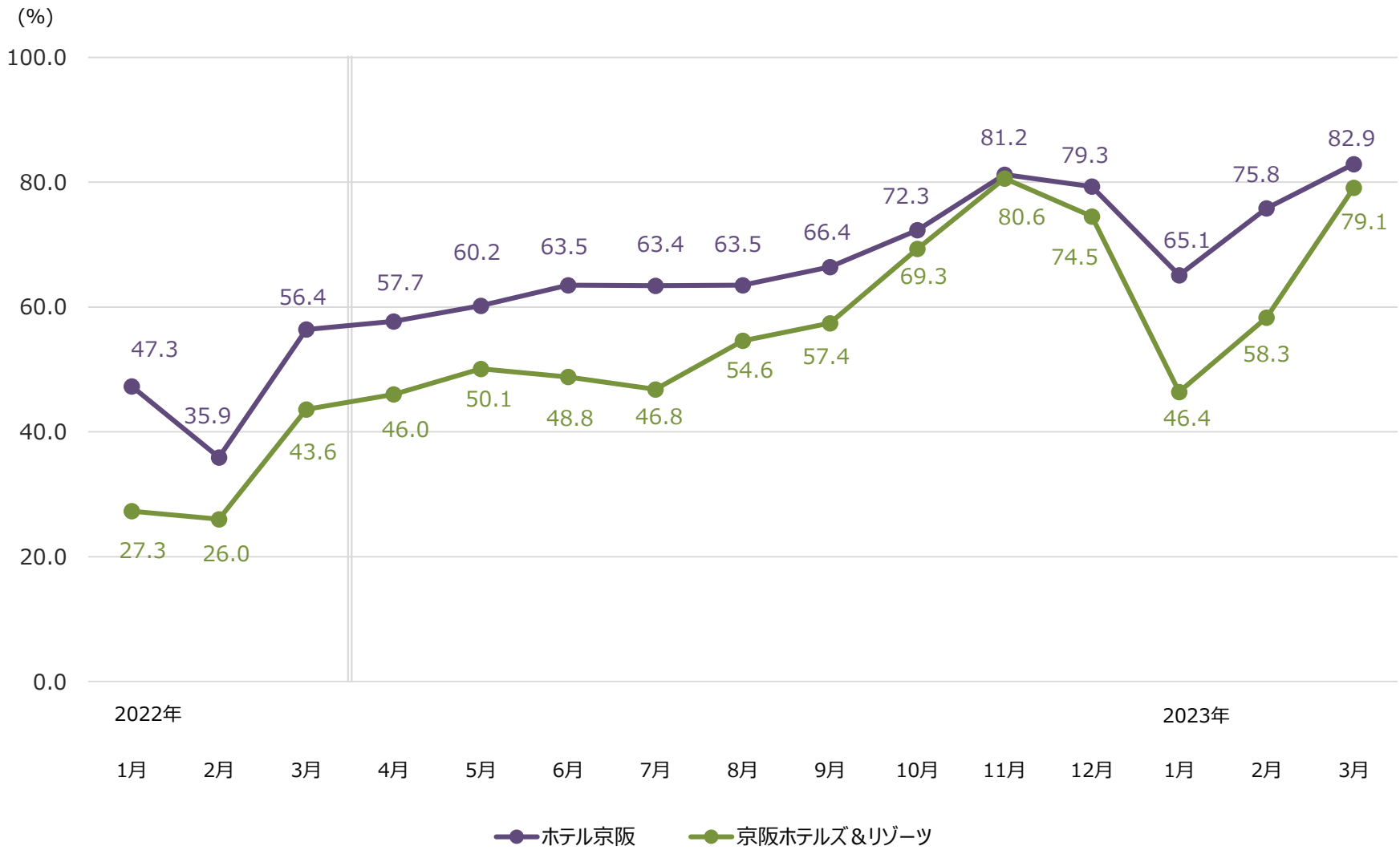
	2023/3 実績	2022/3 実績	増減
ホテル京阪	69.8%	41.6%	28.2pt
京阪ホテルズ＆リゾーツ	59.3%	30.8%	28.5pt

（主な増減要因）

- ホテル事業は、緊急事態宣言が発出された前期の休業や営業規模縮小の影響の反動などにより、増収・増益。
- レジャー事業は、緊急事態宣言が発出された前期の営業規模縮小の影響の反動などにより、増収・増益。

セグメント情報（レジャー・サービス業）

ホテル事業　客室稼働率



連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	217,002	186,794	30,207	販売土地及び建物+20,484、 受取手形、売掛金及び契約資産+10,928
固定資産	557,846	550,466	7,379	建設仮勘定+7,743
資産合計	774,849	737,261	37,587	
流動負債	148,777	127,477	21,300	未払金+12,645、 1年内償還予定の社債+10,000
固定負債	352,560	353,907	△1,347	社債△20,000、 長期借入金+13,025
負債合計	501,338	481,384	19,953	
純資産	273,510	255,876	17,634	利益剰余金+14,981 ※自己資本比率34.6%（+0.5pt）
負債純資産合計	774,849	737,261	37,587	
有利子負債	341,625	345,311	△3,685	社債△10,000、借入金+6,314

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,932	21,673	△4,741	棚卸資産の増加△28,542、 売上債権の増加△9,030、 その他流動負債の増加+27,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,109	△17,641	4,531	固定資産の売却による収入+6,704、 固定資産の取得による支出の減少+1,574、 投資有価証券の売却による収入△1,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,435	△10,264	2,829	有利子負債の返済による支出の減少+2,747
現金及び現金同等物の増減額	△3,612	△6,232	2,620	
現金及び現金同等物の期首残高	20,322	26,554	△6,232	
現金及び現金同等物の期末残高	16,727	20,322	△3,594	

セグメント別設備投資・EBITDA

（単位：百万円）

	設備投資					EBITDA				
	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	2023/3 予想	増減額	2023/3 実績	2022/3 実績	増減額	2023/3 予想	増減額
合計	29,712	17,193	12,518	36,900	△7,187	40,520	34,331	6,189	37,400	3,120
運輸業	9,478	6,142	3,336	11,500	△2,021	17,738	12,022	5,715	15,700	2,038
不動産業	13,262	9,473	3,789	12,100	1,162	24,196	29,043	△4,847	23,700	496
流通業	1,496	826	669	2,500	△1,003	2,932	2,837	94	3,500	△567
ﾚｼﾞｬｰ･ｻｰﾋﾞｽ業	5,217	586	4,630	2,100	3,117	△2,646	△8,181	5,534	△3,400	753
その他の事業	117	46	71	100	17	△1,071	△1,211	140	△800	△271
全社・消去	139	118	20	8,600	△8,460	△628	△179	△449	△1,300	671

2024年3月期

業 績 予 想

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

連結損益計算書（業績予想）

- 開発案件の販売やマンション販売の増加による不動産業の増収に加え、運輸業やレジャー・サービス業等における新型コロナウイルス感染症の影響からの回復を見込む。

（単位：百万円）

	2024/3 予想	2023/3 実績	増減額	増減率	増減要因
営業収益	292,000	260,070	31,929	12.3%	
営業利益	23,400	20,491	2,908	14.2%	
経常利益	22,300	20,458	1,841	9.0%	雇用調整助成金△513、 新型コロナウイルス感染症対策補助金△260
親会社株主に帰属する当期純利益	18,500	17,621	878	5.0%	受取補償金△1,872、 減損損失△895
(参考)					
減価償却費	20,500	20,028	471	2.4%	
EBITDA	43,900	40,520	3,379	8.3%	
有利子負債	378,000	341,625	36,374	10.6%	
金融収支	△1,500	△1,341	△158	–	
受取利息及び配当金	500	535	△35	△6.7%	
支払利息	2,000	1,877	122	6.5%	

セグメント情報（業績予想）

（主な増減要因）

- 運輸業　：新型コロナウイルスの影響からの回復や鉄道駅バリアフリー料金制度の導入により増収を見込むものの、修繕費など営業費の増加が上回り、減益。
- 不動産業　：ホテル等の開発案件の販売に加え、マンション販売の増加などにより、増収・増益。
- 流通業　：新型コロナウイルスの影響からの回復や店舗リニューアル効果などにより、増収・増益。
- ﾚｼﾞｬｰ･ｻｰﾋﾞｽ業　：新型コロナウイルスの影響からの回復に加え、2023年3月に開業した「ホテル京阪なんばグランデ」の通期寄与などにより、増収・増益。

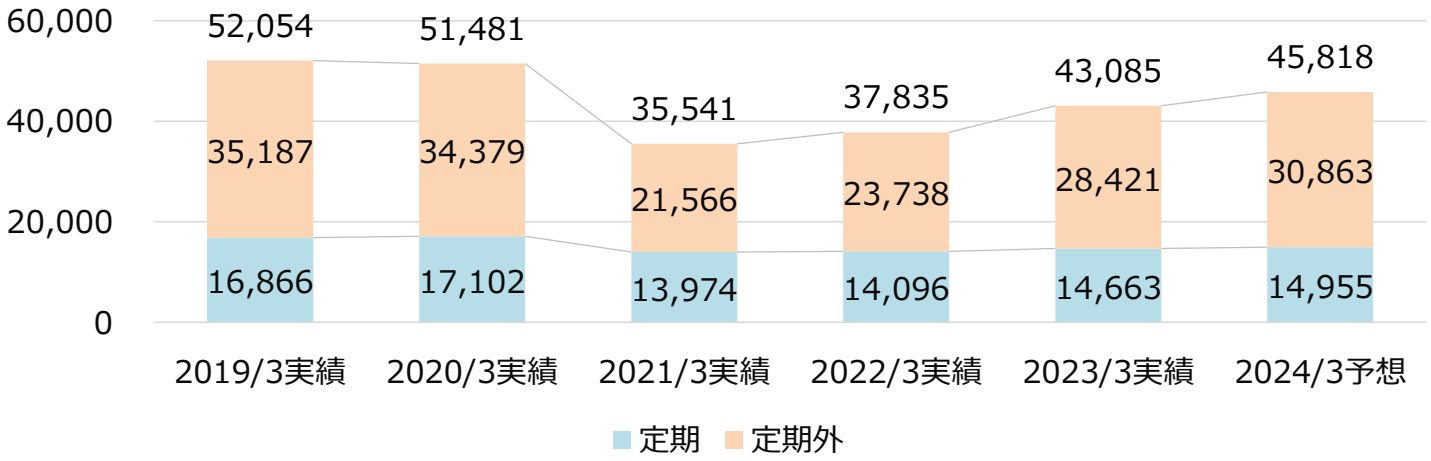
（単位：百万円）

		2024/3 予想	2023/3 実績	増減額
運輸業	営業収益	85,700	80,927	4,772
	営業利益	6,700	6,885	△185
不動産業	営業収益	137,900	120,103	17,796
	営業利益	18,100	17,555	544
流通業	営業収益	53,000	50,676	2,323
	営業利益	2,100	1,878	221
ﾚｼﾞｬｰ･ｻｰﾋﾞｽ業	営業収益	29,200	22,869	6,330
	営業利益	△1,700	△3,836	2,136
その他の事業	営業収益	4,300	3,660	639
	営業利益	△1,100	△1,230	130
全社・消去	営業収益	△18,100	△18,167	67
	営業利益	△700	△761	61

運輸成績（業績予想） 京阪電気鉄道

	2024/3 予想	2023/3 実績	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客収入	45,818	43,085	2,733	6.3
定期外	30,863	28,421	2,441	8.6
定期	14,955	14,663	292	2.0
	千人	千人	千人	%
旅客数	251,363	243,608	7,754	3.2
定期外	123,690	115,377	8,312	7.2
定期	127,673	128,230	△557	△0.4

旅客収入の推移（百万円）



セグメント別設備投資･EBITDA（業績予想）

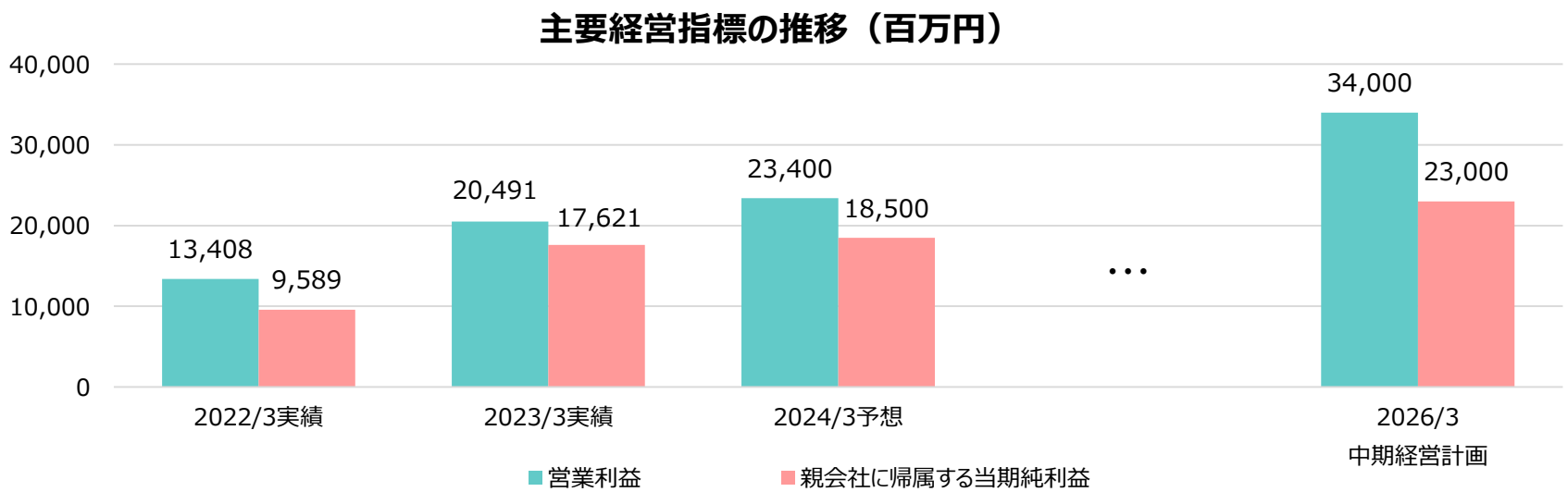
（単位：百万円）

	設備投資			EBITDA		
	2024/3 予想	2023/3 実績	増減額	2024/3 予想	2023/3 実績	増減額
合計	44,800	29,712	15,087	43,900	40,520	3,379
運輸業	18,200	9,478	8,721	17,500	17,738	△238
不動産業	11,600	13,262	△1,662	24,900	24,196	703
流通業	2,700	1,496	1,203	3,200	2,932	267
ﾚｼﾞｬｰ･ｻｰﾋﾞｽ業	2,200	5,217	△3,017	△200	△2,646	2,446
その他の事業	200	117	82	△1,000	△1,071	71
全社・消去	9,900	139	9,760	△500	△628	128

参考（経営指標）

（単位：百万円）

	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 予想		2026/3 中期経営計画
営業利益	13,408	20,491	23,400		34,000
親会社株主に帰属する当期純利益	9,589	17,621	18,500		23,000
EBITDA	34,331	40,520	43,900	・・・	58,000
ネット有利子負債EBITDA倍率（倍）	9.47	8.02	8.20		6倍台
ROE	3.9%	6.8%	6.7%		7%水準



こころまち つくろう

KEIHAN

京阪ホールディングス株式会社

グループ管理室経理部

TEL 06-6944-2527